令和5年度事業計画書（令和5年5月1日～令和6年4月30日）

（敬称略）

《事業の概要》

写真を通じて、日本文化の進展に寄与することを目的に、令和 5 年度は下記の事業を実施する

《中長期戦略企画室》

1. 中長期戦略企画室のテーマを「日本写真会館構想」具体化に絞る
2. 日本写真会館構想の方向性の明確化とスケジュール化の推進
   ① 今年度（令和 5 年度）に方向性（建替えか、売却・移転か等）の明確化した上で、実施計画を具体化
   ② その見通しにより、築 50 年になる会館の修繕計画を併せて設定する

《総　務　部》

1. 任期満了に伴う役員改選をはじめとする、第 77 回定時会員総会等のスムーズな運営推進
2. 全国ブロック、都道府県との情報共有化を始めとする連携強化のため、オンライン合同会議開催
   （これまでは 1 回/年　12 月に通常会議・開催であったが、同会議を含め、2 回/年以上の開催）
3. 会長・副会長会議、理事会等、会議全般のシステムに関して、健全運営のための効率化を研究推進
4. 令和 5 年度功労者（写真芸術の発展に功績のあった個人及び団体）の選考と表彰
5. 日本写真館協会との事業連携（アライアンス）の検討と具体化
6. 日本写真著作権協会との連携強化による、会員への著作権思想の更なる浸透と付番される著作権番号の有効活用の検討
7. 国際交流活動の推進
   ① PPJ の、円滑な活動に向けた体制の見直し
   ② WPC2023 入賞作品展の開催
   ③ WPC2024 応募促進及び入賞に向けた活動強化 ： 入賞作品展開催による認知度向上と応募促進
8. 公益社団法人化に向けた問題点の整理と方向性の協議・明確化
9. 成人年齢 18 歳引き下げに伴う成人式典情報の収集
10. 事務局業務の効率的遂行及び、日本写真会館・テナントの管理徹底

《財　務　部》

1. 令和 5 年度予算の遂行管理の徹底
   ・ 事業実施状況を確認し、各部予算の適切な使用を促進
2. 日本写真会館構想を踏まえた、中期的な予算設定の考え方を策定
3. 上記 2 の中期的な予算設定の考え方にもとづき、令和 6 年度収支予算を策定

《事　業　部》

1. スクールフォトビジネスの構築
   ① 第 70 回全国展フォトコンテスト・学生部門の企画推進（文化部に協力）
   ② 写館協との協働による「学校写真」活性化活動の推進
2. NPO 法人「よみがえれ卒業アルバム」事業に対する協力

《文　化　部》

1. 全国展フォトコンテストの実施
   ① 第 69 回全国展フォトコンテスト表彰式・入賞入選作品展　実施
      ・ 表彰式 ： 令和 5 年 5 月 28 日（日）、東京都美術館（東京・上野）予定
      ・ 写真展 ： 東京都美術館　　令和 5 年 5 月 28 日（日）～6 月 4 日（日）
      富士フイルムフォトサロン大阪　　令和 5 年 9 月 22 日（金）～9 月 28 日（木）
      ポートレートギャラリー　　令和 5 年 12 月 21 日（木）～12 月 27 日（水）
      尚、東京都美術館展では、文協コーナーにて「2023 選抜展」を併催
      ・「第 69 回全国展フォトコンテスト入賞入選作品集」の発行
      発　行 ： 令和 5 年 5 月予定 ・ 販売価格 ： 2,000 円/冊（税込）
   ② 第 70 回全国展フォトコンテストの企画推進
      ・ 会員、一般、学生の応募増のための働きかけ・仕組みづくり
      ・ 特に第 69 回にて中学生を対象に加えた学生の部の結果検証と応募促進
      ・ 経費見直しを図りつつ、コンテスト企画の魅力増を推進
2. 第 72 回 「写真の日」記念講演の開催
   ・ 日　時 ： 令和 5 年 5 月 28 日（日）（第 69 回全国展フォトコンテスト表彰式と同日開催）
   ・ 会　場 ： 東京都美術館（東京・上野）
   ・ 講　師 ： 写真家　野町　和嘉
3. ポートレートギャラリーの運営
   ① 更なる活性化に向け、新規展示希望者の取込みを含めたプロカメラマン・主要写真団体・写真クラブへの PR と公募働きかけ

② 維持対策の実施
・ 展示用レンタル額の一部更新等、メンテナンスの実施

4. 写真普及、及び写真文化・芸術に関する調査・研究・表彰（継続実施）
① 七五三・成人式等、日本の慣習・文化を紹介、写真館で残す写真の意義・素晴らしさを伝播
② 写真に携わる一般人や高校生への写真普及事業の展開
・ 写真普及を目的として写真愛好家や都道府県高等学校写真連盟などの写真活動を支援し、当協会賞を設定、優秀な作品の顕彰に寄与
③ 最新写真情報及び歴史の調査・研究並びにその活用
④ 写真作品・写真に関する書籍・情報の収集・保存
⑤ 写真愛好家の育成拡大
・ 地域社会における、写真愛好家の育成拡大のための写真教室開催の検討企画

5. 全国 10 ブロックへの講師派遣の推進
・ 各ブロック主催の講習会や研修会等に講師を派遣又は派遣にかかわる経費の補助

6. 下岡蓮杖翁の顕彰
・ 令和 6 年 3 月 3 日(日)染井霊園（東京・巣鴨）墓参

《広　報　部》

1. 文協の知名度・ステイタス向上ための活動推進（文協からの情報発信と受信窓口としての活動展開）
・ 情報収集力、情報発信力の強化
・ 会員相互の情報共有・交流の活性化

2. 出版関係
① 機関誌「写真文化」の内容の充実
・ 印刷特性を生かす良質写真の掲載、インターネット題材への積極的なリンクによる相乗効果、新連載企画「新しい写真文化」による、新規スタジオメニューの紹介
② 「写真文化」年間発行数減（6 回/年→4 回/年）に対する補完及び、新たな情報提供策として、メールマガジン「写真文化＋（プラス）」のタイムリーな発信
③ 「写真文化」での文協事業の報告告知 ： 定時会員総会、理事会、各事業部報告等
④ 全国会員からの情報収集の整備（ブロック・都道府県広報担当との情報連携体制の構築）

3. IT広報関係
① ホームページのリニューアル
・ 主に一般顧客層にスタジオ撮影の魅力を訴求する内容に更新。「日本文化と写真」ページの充実（節句・七五三・成人・年祝等、写真館で撮る写真の意味を説明）
② メールマガジン「写真文化＋」企画推進他、会員名簿電子化の有効活用推進（付加価値追加）
・ 会員電子メールによるネッワーク作りの推進／未収都道府県からのメールアドレス収集促進
③ 全国展入賞作品アーカイブの推進
・ 全国展の認知度と自治体へのアプローチによる文協知名度の向上
④ ニュースリリースの発行・配布（全国展フォトコンテスト、会長年頭所感等）

《教育訓練部》

1. 令和 5 年度第 60 回夏期写真大学講座の開催
開催直前にコロナ感染拡大のために中止した第 59 回の内容をベースに、第 60 回のカリキュラムを設定
① 時代のニーズに合せた参加しやすいコース、開催期間短縮、参加費値下げで開催
（対「最近実施の第 56 回比」）
・ 開催期間は、8 月 7 日（月）～9 日（水）の 3 日間（1 日減）
・ 受講料は各コースともに 15,500 円減額
② 基礎、撮影、成人振付撮影、学校写真の 4 コースを設定
（応用、和装婚礼振付、七五三成人着付の各コースは実施せず）
③ 技能検定合格に向けた内容とする。また、成人振付撮影/学校写真コースは最終日試験合格の受講生に当協会よりコース修了認定証を授与する

2. 技能検定対策
① 「写真職種・肖像写真デジタル作業（1・2 級）」への対応
・ 受検者数減理由により隔年実施となったが、令和 5 年は実施年であり、受検者増の働きかけを行う
・ 今後の受検者増対策の一つとして主要都市での写真映像教育機関と連携した検定試験実施可能な拠点づくりを推進
② 「写真職種・学校写真作業」の新設検討及び、働きかけ